

| | | | | | |
|------------|------|-----|--------------|------------|--------|
| 施策番号 | 447 | 施策名 | 地域情報化の推進 | 主管課名 | くらし安全課 |
| 総合計画 体系 | 政策名 | 4 | 快適な生活環境の里づくり | 令和 2 年度課長名 | 小原 克則 |
| | 関係課名 | | | シート作成者 | 小谷 勝彦 |

1. 施策の対象と意図の指標

| ① 施策の対象(誰、何が対象か) | | ③ 対象指標(対象の数・規模) | | 単位 | 区分 | 30 年度 | 1 年度 | 2 年度 | 3 年度 | 4 年度 |
|-------------------------------|---|-----------------|----------------------|--------------------------|---------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ア 町民 | → | ア | 町民人口 | 人 | 見込値 | | | 12,143 | 11,970 | 11,800 |
| | | | | | | 実績値 | 12,926 | 12,754 | 12,625 | |
| イ 事業所 | → | イ | 事業所数 | 箇所 | 見込値 | | | 490 | 490 | 490 |
| | | | | | | 実績値 | 529 | 497 | 497 | |
| ウ | → | ウ | | | 見込値 | | | | | |
| | | | | | | 実績値 | | | | |
| ② 施策の意図(対象をどうしたいのか) | | ④ 成果指標(意図の達成度) | | 単位 | 区分 | 30 年度 | 1 年度 | 2 年度 | 3 年度 | 4 年度 |
| ア 地域格差無く必要な情報を迅速に入手できるようにする | → | ア | 高速インターネットを接続している人の割合 | % | 目標値 | 67.0 | 69.0 | 70.0 | 72.0 | 74.0 |
| | | | | | 実績値 | 67.8 | 67.8 | 72.3 | | |
| | | | | | 達成率 | 101.2% | 98.3% | 103.3% | 100.4% | 97.7% |
| イ 日頃高速インターネットを利用して いる町民の割合 | → | イ | | % | 目標値 | 88.0 | 89.0 | 90.0 | 90.5 | 91.0 |
| | | | | | 実績値 | 88.2 | 89.7 | 92.0 | | |
| | | | | | 達成率 | 100.2% | 100.8% | 102.2% | 101.7% | 101.1% |
| ウ | → | ウ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | | | 実績値 | | | | | |
| | | | | | 達成率 | | | | | |
| エ | → | エ | | | 目標値 | | | | | |
| | | | | | 実績値 | | | | | |
| | | | | | 達成率 | | | | | |
| ⑤ 成果指標 設定の考え方 | 地域情報インフラの整備状況とインターネット接続利用を行っている世帯を測定することによって、地域情報化の向上成果の指標とした。いつでもどこでも誰でも利用可能な環境整備が快適な定住環境の基礎となる。 | | | ⑥ 成果指標の 把握方法と 算定式等 | ア・イ) 町民アンケート(対象者1,000人中481人が回答) | | | | | |

2. 施策の役割分担

| | ① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと) | ② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと) |
|-----------------------------------|--|---|
| 施策成果向上 に向けた 住民と行政との 役割分担 | 町が整備した施設を有効かつ適切に利用すること。(受信端末機器の購入、接続申請、使用料の負担) | <ul style="list-style-type: none"> 地域情報化の地域格差の是正 指定管理者の指導及び評価 インターネット未加入世帯、音声告知器の未設置世帯への設置促進及び設置済世帯への利用促進のため、CATV等を活用し啓発 住民が情報発信を楽しめる環境整備 |

3. 評価結果

| 1. 施策の成果水準とその背景・要因 | | |
|--|--|---|
| 2 年度 の 評価結果 | <p>① 成果指標の時系列比較 (成果は向上したか? 低下したか? 要因は?)</p> <p>高速インターネットを接続している世帯の割合は72.3%と増加しており、日頃インターネットを利用している町民の割合についても、92.0%と増加している。 コロナウイルス対策での外出自粛で、インターネットの利用が全国的に進んでいると考えられる。</p> | <input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない <input type="checkbox"/> 低下した |
| | <p>② 他団体との比較 (近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)</p> <p>FTTH整備について、H26年度に鏡野地域を整備し、町内全地域を整備することとなった。近隣では真庭市、美咲町と同水準となり、H27年度からPFI方式により運営を行っている。岡山県内でも県北地域の地域情報化は進んでいる。その中でも鏡野町の水準は高い。</p> | <input checked="" type="checkbox"/> 高い水準 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準 |
| | <p>③ 住民の期待水準との比較 (住民の期待よりも高い水準か、低い水準か、どんな意見や要望が寄せられているか?)</p> <p>音声告知放送で、コロナウイルス関連の緊急情報等を随時提供するなどした。 情報化やコロナウイルスの影響で、トラフィック推移の急激な増加傾向がみられ、ユーザからの速度に関する問合せ、苦情が時折寄せられている。</p> | <input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準 |
| 2. 施策の成果実績に対する 2 年度の取組や目標達成度 | | |
| <p>■ 2 年度の主な取組の成果(改革改善した取組、目標の達成度は?)</p> <p>広帯域利用のコンテンツ増加による帯域圧迫について、通信状況調査を実施し通信速度を検証した。 時間帯により通信量の増加は見られるが、現状では速度に影響のある状況ではなく、速度の維持について、改善の努力を続け、インターネット利用の増加が見込まれる今後も、引き続き通信量を監視しながら、安定化と改善を図る。</p> | | <input type="checkbox"/> 目標値以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおり <input type="checkbox"/> 目標値以下 |
| 3. 施策の今後の課題と改革改善の方向 (うまくいかなかった取組や事務事業は? その原因は?) | | |
| <p>1年から数年おきに、通信速度を維持する目的で接続帯域を増加させているが、直近では平成30年に、100Mbps→400Mbpsへ帯域増加させ、3,024,000円(税込み)の経費を必要としている。 今後、学校関係でギガスクールの利用やテレワークが増えること、コロナウイルスで、外出自粛による利用増、無観客ライブの動画視聴が増加傾向にあること、動画はどんどん高画質になっていくことが考えられるため、今後のトラフィック推移の増加を見込んだ十分な帯域を確保するため、経費の積算と予算計上を検討する。</p> | | |